

2019 vol.19 平成31年4月発行

く る め こ う い き  
**久留米広域**

# 消防だより

## 火災から 身を守るう!!



写真：一般住宅火災 写真提供：東京消防庁

平成31年4月1日

久留米広域消防本部と大川市消防本部が統合しました。  
統合に伴い、久留米広域消防本部の管轄（久留米市・小郡市・  
うきは市・大刀洗町・大木町）に大川市が加わりました。



写真：野外焼却による延焼火災



久留米広域市町村圏事務組合 **久留米広域消防本部**

<http://www.fire-city.kurume.fukuoka.jp/fire/index.html>



平成30年中に久留米広域消防本部管内(久留米市・小郡市・うきは市・大川市・大刀洗町・大木町)で発生した火災件数は141件で、昨年と比べると17件減少しています。全国的に見ても、中長期的な火災件数の推移は、**減少傾向**にあります。

その要因としては、生活形態の変化により直接火を取り扱うことが少なくなったことや、建築物などの防火性能が向上したこと、各種安全装置が搭載された給湯器やこんろなどの普及等が考えられます。

しかし、火災は家庭や事業所など、身近でいつ起こってもおかしくない、**生命や財産を脅かす危険な災害**です。火災の現状を把握し、**予防対策に取り組むことが大切**です！



## 最近の火災を見てみよう！

### ●久留米広域消防本部出火原因TOP3 (消防署別) ※H28～H30年の3か年の合計値

<b>久留米消防署</b>	1位 <b>こんろ</b> (24件)	2位 <b>放火の疑い</b> (21件)	3位 <b>放火</b> (16件)
<b>三井消防署</b>	1位 <b>野外焼却</b> (17件)	2位 <b>放火の疑い</b> (8件)	3位 <b>電灯電話の配線</b> (7件)
<b>浮羽消防署</b>	1位 <b>野外焼却</b> (21件)	2位 <b>放火の疑い</b> (8件)	3位 <b>配線器具</b> (5件)
<b>三潁消防署</b>	1位 <b>野外焼却</b> (11件)	2位 <b>電灯電話の配線</b> (4件)	3位 <b>灯火</b> (3件) / <b>放火の疑い</b> (3件)
<b>大川消防署</b>	1位 <b>野外焼却</b> (5件)	2位 <b>電気装置</b> (3件)	3位 <b>たばこ</b> (2件) / <b>炉</b> (2件) / <b>焼却炉</b> (2件) / <b>配線器具</b> (2件)

<b>消防本部全域</b>
1位 <b>野外焼却</b> (69件)
2位 <b>放火の疑い</b> (40件)
3位 <b>こんろ</b> (32件)

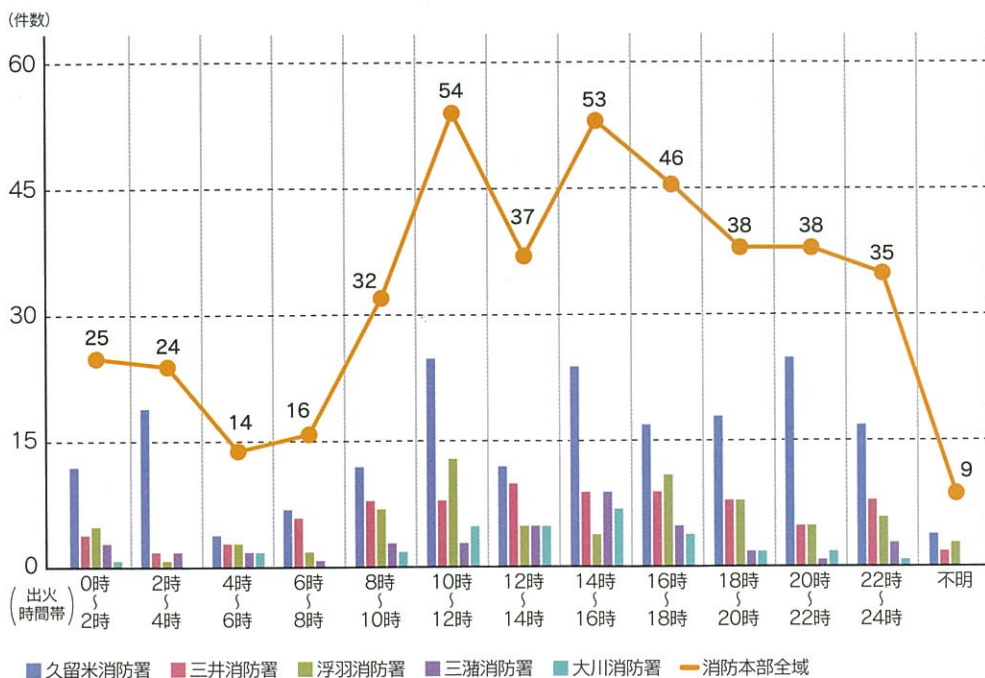
※野外焼却とは、たき火(家庭ごみ・落ち葉・剪定屑)や火入れ(麦わら・稲わら)が原因となる火災です。

#### 管轄地域

- 久留米消防署:久留米市(田主丸町・北野町・城島町・三潁町を除く)
- 三井消防署:小郡市・北野町・大刀洗町
- 浮羽消防署:うきは市・田主丸町
- 三潁消防署:大木町・城島町・三潁町
- 大川消防署:大川市

### ●出火時間帯(消防署別) ※H28～H30年の3か年の合計値

出火時間帯を見てみると、お昼頃から夜間の時間にかけて多く発生しています。



時間帯別の割合は？

8時～14時	29%
14時～20時	33%
20時～2時	23%
2時～8時	13%

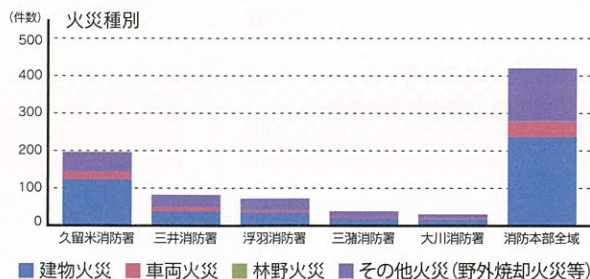
**火を取り扱う時間帯は注意が必要です!!**





## ●火災種別(消防署別) ※H28～H30年の3カ年の合計値

火災種別を見てみると、半数以上を建物火災が占めています。建物火災から身を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。住宅用火災警報器は、平成21年6月に一般住宅への設置が義務付けられています。いざというときに正しく作動するよう、設置から10年で、機器の交換を検討する必要がありますし、普段からの定期的な動作確認が大切です。



## 当消防本部管内における出火原因の第1位は野外焼却による延焼火災！ 減らそう野外焼却火災！！

久留米広域消防本部管内では、毎年、春から夏にかけて野外焼却による火災が多く発生しています。その理由としては、**梅雨入り前に空地の枯草や田畑での麦わら等の野外焼却を行う機会が多いこと、この時期が空気が乾燥し風が強い日が続くこと**などが挙げられます。



## 《 野外焼却は法律で原則禁止されています 》

野外焼却は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で原則禁止されていますが、下記に該当する**周辺地域の生活環境に与える影響が軽微なものに限って**、例外とされています。

風俗慣習上または宗教上の行事を行うために必要な焼却

例 祭事上等の焼却  
どんど焼き、さぎっちょ等

日常生活を営む上で通常行われる軽微な焼却

例 木くず等の焼却  
たき火、キャンプファイヤー等

その他認められる焼却

例 農業、林業又は漁業を営むためやむを得ない焼却  
麦わら、稲わらの焼却

※造園業者による剪定枝等の焼却は禁止されています。

## 例外として野外焼却を行う場合は次のことに注意してください。

### 燃やす前の注意点

- 風の強い日や乾燥注意報等が出ているときは絶対に行わない。
- 消火の準備をする。(水バケツ、消火器など)
- 周囲に燃えやすいものがない場所で行う。(風下には特に注意)

### 燃やしているときの注意点

- 複数の人数で焼却する。
- 火を消すまではその場を絶対に離れない。
- 燃え広がりを防ぐために少しずつ焼却する。

### 消火後の注意点

- 完全に火が消えたことを確認する。



※例外として野外焼却を行う場合は事前に最寄りの消防署へお知らせください。(万一、火災となった場合に備えるためであり、野外焼却の許可ではありません)

連絡先

■ 久留米消防署 ☎0942-38-5152  
■ 浮羽消防署 ☎0943-72-4193  
■ 大川消防署 ☎0944-88-1145

■ 三井消防署 ☎0942-72-5101  
■ 三瀨消防署 ☎0942-62-2185



救急概況

久留米広域消防本部(旧大川市消防本部を除く)の平成30年中における救急出動件数は**19,021件**で前年と比べ**475件増加し、過去最高の件数**となっています。

旧大川市消防本部の平成30年中における救急出動件数は**1,520件**で前年と比べ**10件減少**しています。

●構成市町別発生件数

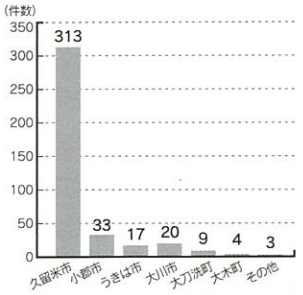


救助概況

久留米広域消防本部(旧大川市消防本部を除く)の平成30年中における救助出動件数は**379件**で前年と比べ**188件増加**しています。これは、**平成30年7月豪雨の発生に伴い、自然災害による出動**が増加したためです。

旧大川市消防本部の平成30年中における救助出動件数は**20件**で前年と比べ**9件増加**しています。

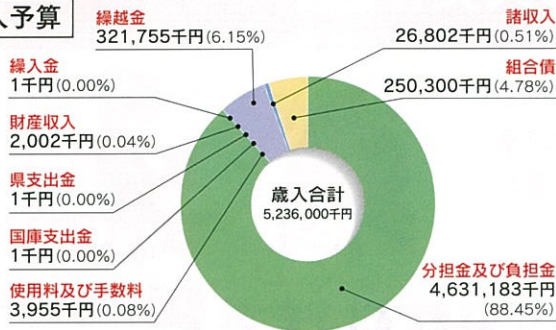
●救助出場件数(過去5年間)



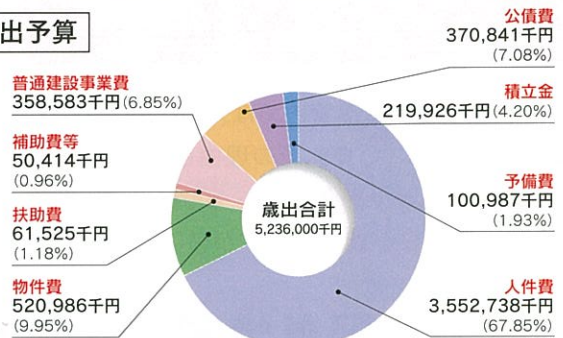
平成31年度

広域消防特別会計予算

歳入予算



歳出予算



平成31年度の主な事業

消防施設整備事業(30,583千円)

久留米広域消防本部庁舎の非常用電源設備設置に係る工事設計及び久留米消防署南出張所の防水外壁改修に向けた工事設計や、消防防災センターの改修等を行います。

消防車両整備事業(328,000千円)

老朽化した救急車3台(久留米消防署南出張所・三猪消防署・大川消防署)、救助工作車1台(三猪消防署)、ポンプ車1台(三井消防署三井出張所)、支援車1台(三井消防署本署)、資機材搬送車1台(久留米消防署本署)、指揮車1台(大川消防署)の更新を行います。

協定調印式

【平成31年2月26日】

久留米広域消防本部と大川市消防本部が平成31年4月1日から統合することに伴い、久留米市長・大川市長・小郡市長・うきは市長・大刀洗町長・大木町長が協定書に署名しました。



寄贈一覧 (平成30年4月1日～平成31年3月31日まで)

田中藍株式会社様からエアテントが寄贈されました!

【平成30年7月13日(金)】

創業130周年を記念し、田中藍株式会社様より、大規模災害時に使用する資機材として「エアテント」が寄贈されました。当消防本部において寄贈式を行い、地域住民の安全安心な暮らしを確保するため、寄贈いただいた資機材を有効に活用していきます。



大川三猪医師会様からAEDトレーナー一式が寄贈されました!

【平成30年9月14日(金)】

大川三猪医師会様より、**応急手当普及啓発**のために、「**AEDトレーナー一式**」が寄贈されました。応急手当に関する知識及び、技術を広く地域住民に知っていただくため、寄贈いただいた資器材を救命講習等で活用していきます。



災害情報(発生時間、場所及び消火時間)をメールでお知らせ

▶アドレスか右記QRコードよりアクセスしてください  
<http://www.center-chikugo119.jp/fire/saigai/pb/mobile/pb.html>

※メールの登録は無料ですが、通信費用は受信者負担となります。  
 ※利用状況等の影響でメール受信が遅れたり、届かない場合があります。



お知らせ

(一財)自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源にコミュニティ助成事業を実施しています。この宝くじの助成金により下記の資機材を整備しました。少年消防クラブの訓練や防火・防災イベント等で活用します。

●幼年消防クラブ 火の用心拍子木/幼年用法被

災害情報や日曜祝日に診療できる病院の案内電話番号

**0180-999-789**



久留米広域消防本部ホームページでも災害情報や日曜祝日に診療できる病院を見ることができます。

久留米広域消防本部 検索

ホームページアドレス

<http://www.fire-city.kurume.fukuoka.jp/fire/index.html>

消防に対するご意見・ご要望等がございましたらホームページからメールでお寄せください。